



WCS ユーザ アカウントの管理

この章では、グローバル電子メール パラメータの設定方法と WCS ユーザ アカウントの管理方法について説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- [WCS ユーザ アカウントの追加 \(P. 7-2\)](#)
- [ユーザ情報の表示または編集 \(P. 7-7\)](#)
- [グループ情報の表示または編集 \(P. 7-8\)](#)
- [ゲスト ユーザ アカウントの作成 \(P. 7-11\)](#)

WCS ユーザアカウントの追加

この項では、WCS ユーザを設定する方法を説明します。AAA フレームワークのアカウントティング部分は、この時点では実装しません。完全なアクセス以外に、区別した権限で特定のユーザグループに対して管理アクセスできます。WCS はこれらのアクセス制限を使用して外部ユーザの認証をサポートし、TACACS サーバおよび RADIUS サーバに対してユーザを認証します。

インストール時に入力したユーザ名とパスワードは、常に認証されますが、ここで取る手順では追加のスーパーユーザが作成されます。パスワードを消失したり忘れたりした場合には、ユーザはユーティリティを実行して別のユーザ定義のパスワードをリセットする必要があります。

WCS に新しいユーザアカウントを追加する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 「WCS の開始」の項 (P.2-12) の手順に従って、WCS を起動します。

ステップ 2 Super1 として WCS ユーザインターフェイスにログインします。



(注) SuperUsers グループに割り当てられたスーパーユーザを新しく作成し、Super1 を削除してシステムに対する不正アクセスを防止することをお勧めします。

ステップ 3 Administration > AAA の順にクリックすると、Change Password ウィンドウが表示されます (図 7-1 参照)。

図 7-1 Change Password ウィンドウ

AAA	Change Password	AAA Mode	Users	Groups	Active Sessions	TACACS+	RADIUS
0	129	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0

ステップ 4 Select a Command ドロップダウンメニューから、Add User を選択し、GO をクリックして User administration ページを表示します。

ステップ 5 Old Password フィールドに、変更したい現在のパスワードを入力します。

ステップ 6 新しい WCS ユーザアカウントのユーザ名とパスワードを入力します。パスワードは2回入力する必要があります。



(注) これらの項目では、大文字と小文字が区別されます。

ステップ 7 Groups Assigned to this User の下にある適切なチェックボックスをオンにして、WCS でサポートされているユーザグループのいずれかに新しいユーザアカウントを割り当てます。



(注) 一部のユーザグループは、別のユーザグループと組み合わせることができません。たとえば、Lobby Ambassador と Monitor Lite の両方を選択できません。

- **System Monitoring** : WCS の動作を監視できます。
- **ConfigManagers** : WCS の動作を監視および設定できます。
- **Admin** : WCS の動作を監視および設定し、WCS のユーザアカウントとパスワードの管理を除くすべてのシステム管理タスクを実行できます。



(注) admin アカウントを選択してコントローラにログインする場合は、Local Net Admin の下のゲストユーザを確認することもできます。

- **SuperUsers** : WCS の動作を監視および設定し、WCS のユーザアカウントとパスワードの管理を含むすべてのシステム管理タスクを実行できます。スーパーユーザのタスクは、変更できます。
- **North bound API** : WCS Navigator でのみ使用されるユーザグループです。
- **Users Assistant** : ローカル ネット ユーザの管理のみを実行できます。
- **Lobby Ambassador** : ゲストのアクセスで許可されるのは、ユーザアカウントの設定と管理のみです。
- **Monitor lite** : アセットロケーションを監視できます。
- **Root** : WCS の動作を監視および設定し、パスワードの変更などのシステム管理タスクのすべてを実行できます。このグループに割り当てることができるユーザは1つだけで、インストールの際に決定されます。このユーザをシステムから削除することはできません。また、このユーザに対してタスクを変更することはできません。

ステップ 8 **Submit** をクリックします。新しいユーザアカウント名が All Users ページに表示され、すぐに使用できる状態になります。

ステップ 9 サイドバーで、**Groups** をクリックして、All Groups ページを表示します (図 7-2 参照)。

図 7-2 All Groups ウィンドウ

Group Name	Members	Audit Trail
Admin	...	
ConfigManagers	...	
System Monitoring	...	
Users Assistant	...	
LobbyAmbassador	lobbyamb ...	
Monitor Lite	...	
North Bound API User	...	
SuperUsers	...	
Root	root ...	
User Defined 1	...	
User Defined 2	...	
User Defined 3	...	
User Defined 4	...	

ステップ 10 新しいユーザアカウントを割り当てたユーザグループの名前をクリックします。Group > User Group ページには、このグループで許可されている操作の一覧が表示されます。

ステップ 11 適切なチェックボックスをオンまたはオフにして、必要な変更を加えます。



(注) ユーザが行った変更は、このユーザグループのすべてのメンバーに影響します。

ステップ 12 変更内容を保存するには **Submit** を、設定値をそのまま残すには **Cancel** をクリックします。

パスワードの変更

WCS ユーザアカウントに対するパスワードを変更する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 「WCS の開始」の項 (P. 2-12) の手順に従って、WCS を起動します。

ステップ 2 SuperUsers グループに割り当てられたユーザとして WCS ユーザインターフェイスにログインします。

ステップ 3 **Administration > Accounts** の順をクリックして、Change Password ページを表示します。

ステップ 4 パスワードを変更するユーザアカウントの名前をクリックします。このページまたは User > Edit ウィンドウでパスワードを変更できます。

ステップ 5 ルートユーザでない場合には、古いパスワードを入力します。(ルートユーザは、古いパスワードを入力せずにパスワードを変更できます。)

ステップ 6 User > Username ページで、新しいパスワードを New Password フィールドおよび Confirm New Password フィールドに入力します。

ステップ7 **Submit** をクリックして、変更内容を保存します。ユーザ アカウントのパスワードが変更され、すぐに使用できる状態になりました。

Active Sessions の監視

アクティブなユーザの一覧を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ1 **Administration > AAA** の順に選択します。

ステップ2 左側のサイドバーのメニューから、**Active Sessions** を選択します。Active Sessions ウィンドウが表示されます (図 7-3 参照)。

図 7-3 Active Sessions ウィンドウ

User Name	IP/Host Name	Login Time	Last Access Time	Login Method	User Groups
root	dhcp-64-101-218-239.cisco.com	11/6/06 5:31 AM	11/6/06 5:40 AM	Regular	Root
root	dhcp-171-71-133-142.cisco.com	11/2/06 11:23 AM	11/6/06 5:39 AM	Regular	Root
root	127.0.0.1	10/30/06 7:56 AM	11/6/06 5:40 AM	Regular	Root

赤で表示されているユーザは、現在ログインしていることを表しています。列見出しがハイパーリンクの場合、列見出しをクリックすると **Active Sessions** の一覧をその列の降順または昇順で並べ替えることができます。並べ替えの方向は、ハイパーリンクをクリックするたびに切り替わります。

Active Sessions ウィンドウに記載されている列は、次のとおりです。

- **IP/Host Name** : ブラウザが稼動しているマシンの IP アドレスまたはホスト名。ユーザ マシンのホスト名が DNS でない場合、IP アドレスが表示されます。
- **Login Time** : ユーザが WCS にログインした時刻。すべての時刻は、WCS サーバのマシンの時刻に基づいています。
- **Last Access Time** : ユーザのブラウザが WCS にアクセスした時刻。すべての時刻は、WCS サーバのマシンの時刻に基づいています。



(注) この列に表示されている時刻は、通常、使用しているシステムの時刻より数秒遅れています。これは、Alarm Status パネルの更新によって、Last Access Time が頻繁に更新されるためです。ただし、ユーザが同じブラウザで WCS Navigator 以外の Web ページへ移動した場合、WCS Navigator へ戻った時点で、時刻のずれはさらに大きくなっています。ブラウザで WCS Navigator 以外の Web ページが表示されている間、アラーム カウントが更新されないため、このようなずれが発生します。

- Login Method :
 - － Web Service : Navigator による WCS の管理に必要とされる内部セッション
 - － Regular : ブラウザを使用して直接 WCS にログインするユーザに対して作成されたセッション
 - － Navigator Redirect : Navigator から WCS にリダイレクトされた Navigator のユーザに対して作成されたセッション
- User Groups : ユーザが所属するグループの一覧 (North bound API は、WCS Navigator でのみ使用されるユーザ グループ)
- Audit trail icon : そのユーザの監査証跡 (以前のログイン時刻) を表示するウィンドウへのリンク

ユーザ情報の表示または編集

Users ウィンドウの User Name 列をクリックして、ユーザが割り当てられているグループを確認したり、パスワードまたはグループの割り当てを調整します。ユーザの詳細事項を記載したウィンドウが表示されます (図 7-4 参照)。

図 7-4 ユーザの詳細のウィンドウ

The screenshot shows the Cisco WCS interface for user management. The main content area is titled "User > root" and contains the following elements:

- Change Password:** Three input fields for "Old Password", "New Password", and "Confirm Password".
- Groups Assigned to this User:** A list of groups with checkboxes. The "Root" group is checked, while others (Admin, ConfigManagers, System Monitoring, Users Assistant, LobbyAmbassador, Monitor Lite, North Bound API User, SuperUsers, User Defined 1-4) are unchecked.
- Buttons:** "Submit" and "Cancel" buttons at the bottom.

On the left sidebar, there are navigation links for AAA, Change Password, AAA Mode, Users, Groups, Active Sessions, and TACACS+. Below these is a table for TACACS+ statistics:

TACACS+		
Rogues	0	147
Coverage		0
Security	0	0
Controllers	0	0
Access Points	0	0
Mesh Links	0	0
Location	0	0

The top right of the interface shows the user is logged in as "root" with links for Logout, Refresh, and Print View. The top navigation bar includes Monitor, Reports, Configure, Location, Administration, and Help.

240413

グループ情報の表示または編集

User ウィンドウの Member Of 列をクリックして、定義されたグループ内でユーザが許可されている特定のタスクを確認したり、それらのタスクを変更および送信します。グループの詳細事項を記載したウィンドウが表示されます (図 7-5 参照)。

図 7-5 グループの詳細のウィンドウ

The screenshot displays the Cisco WCS interface for configuring the 'Root' group. The left sidebar shows navigation options like AAA, Change Password, AAA Mode, Users, Groups, Active Sessions, and TACACS+. The main content area is titled 'Group > Root' and contains a 'List of Tasks Permitted' section with a long list of tasks, each with a checked checkbox. The 'Members of this Group' section shows a single member named 'root'. At the bottom, there are 'Submit' and 'Cancel' buttons.

TACACS+			
Rogues	0		147
Coverage			0
Security	0	0	0
Controllers	0	0	0
Access Points	0	0	0
Mesh Links	0	0	0
Location	0	0	0

240384

Audit Trail の表示

Users ウィンドウで Audit Trail アイコンをクリックして、認証の試行のログを表示します。Audit Trail ウィンドウが表示されます (図 7-6 参照)。

図 7-6 Audit Trail

The screenshot displays the Cisco Wireless Control System (WCS) interface. The top navigation bar includes 'Monitor', 'Reports', 'Configure', 'Location', 'Administration', and 'Help'. The user is logged in as 'root'. The main content area is titled 'Group Audit Trail > root' and shows a list of authentication attempts. The left sidebar contains various system statistics such as 'Rogues', 'Coverage', 'Security', 'Controllers', 'Access Points', 'Mesh Links', and 'Location'.

User	Operation	Time	Status
root	Authentication	Nov 6, 2006 12:03:54 PM	Success
root	Authentication	Nov 6, 2006 2:54:28 PM	Success
root	Authentication	Nov 6, 2006 3:10:08 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 10:14:05 AM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 1:06:05 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 1:06:21 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 1:51:00 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 1:51:08 PM	Failure
root	Authentication	Nov 7, 2006 1:51:23 PM	Failure
root	Authentication	Nov 7, 2006 1:51:38 PM	Failure
root	Authentication	Nov 7, 2006 1:53:26 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:05:26 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:17:54 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:21:42 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:22:19 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:31:54 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:35:02 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:40:05 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:41:02 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:50:11 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 2:50:38 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:03:54 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:04:50 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:05:22 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:33:33 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:33:41 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:33:49 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:37:19 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:37:25 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:38:33 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:38:50 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:41:10 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:41:10 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:41:10 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:41:11 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:44:23 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:45:00 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:45:13 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:45:13 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:45:13 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:48:41 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 3:56:58 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:01:40 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:17:58 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:19:14 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:19:14 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:21:38 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:21:38 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:28:19 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:28:19 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:28:19 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:28:19 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:30:40 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:30:40 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:30:40 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:30:40 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:30:41 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:33:29 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:33:36 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:35:18 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:41:57 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:50:35 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:50:36 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:50:37 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:50:38 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:52:23 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:52:23 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:52:23 PM	Success
root	Authentication	Nov 7, 2006 4:53:32 PM	Success

WCS ユーザ アカウントの削除

WCS ユーザ アカウントを削除する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** 「WCS の開始」の項 (P. 2-12) の手順に従って、WCS を起動します。
 - ステップ 2** SuperUsers グループに割り当てられたユーザとして WCS ユーザ インターフェイスにログインします。
 - ステップ 3** **Administration > Accounts** の順にクリックして、**All Users** ページを表示します。
 - ステップ 4** 削除するユーザ アカウントの左側のチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5** **Select a Command** ドロップダウン メニューから、**Delete User(s)** を選択し、**GO** をクリックします。
 - ステップ 6** プロンプトが表示されたら、**OK** をクリックして確認します。ユーザ アカウントが削除され、使用できなくなります。
-

ゲスト ユーザ アカウントの作成

Cisco Lobby Ambassador 機能を使用して、WCS でゲスト ユーザ アカウントを作成できます。企業によって提供されるゲスト ネットワークは、ホストを危険にさらすことなく、ゲストがインターネットにアクセスできるようにします。Web 認証はサブリカントまたはクライアントの有無にかかわらず提供されます。そのため、ゲストはそれらの目的の宛先への VPN トンネルを開始する必要があります。

システム管理者は、まず Lobby Administrator アカウントを設定する必要があります。Lobby Ambassador アカウントは制限された設定権限を持ち、ゲスト ユーザ アカウントの設定と管理に使用する画面へのアクセスのみを許可します。Lobby 管理者は、オンライン ヘルプにはアクセスできません。

このアカウントにより、管理者以外のユーザが WCS でゲスト ユーザ アカウントを作成し管理できます。ゲスト ユーザ アカウントの目的は、ユーザアカウントに制限時間を与えることです。Lobby Ambassador は、ゲスト ユーザ アカウントがアクティブとなる特定の時間フレームを設定できます。指定した時間が経過すると、ゲスト ユーザ アカウントは自動的に失効します。この項では、WCS で Lobby Ambassador がゲスト ユーザ アカウントを作成し管理する方法について説明します。

この項では、次の手順を実行する方法を説明します。

- [Lobby Ambassador アカウントの作成 \(P. 7-11\)](#)
- [WCS ユーザ インターフェイスへのログイン \(P. 7-12\)](#)
- [WCS ゲスト ユーザ アカウントの管理 \(P. 7-13\)](#)
- [Lobby Ambassador アクティビティのロギング \(P. 7-18\)](#)

Lobby Ambassador アカウントの作成

Lobby Ambassador では、次の種類のゲスト ユーザ アカウントを作成できます。

- ライフタイムの期限があるゲスト ユーザ アカウント。Lobby Ambassador は、ゲスト ユーザ アカウントがアクティブとなる特定の時間フレームを設定できます。指定した時間が経過すると、ゲスト ユーザ アカウントは自動的に失効します。
- ライフタイムの期限がないゲスト ユーザ アカウント。このアカウントには有効期限がありません。
- 事前に定義された将来の時刻にアクティブ化されるゲスト ユーザ アカウント。Lobby Ambassador では、有効期間の開始時刻と終了時刻が定義されています。

WCS で Lobby Ambassador アカウントを作成する手順は、次のとおりです。



(注) Lobby Ambassador アカウントを作成するには、管理者権限ではなく SuperUser 権限 (デフォルト) が必要です。



(注) インストールの際に作成されるルート グループに割り当てられたユーザは 1 つのみです。インストール後に、ユーザを追加して割り当てることはできません。このルート ユーザは変更できません。また、スーパーユーザとは異なり、タスクを変更することもできません。

ステップ 1 管理者として WCS ユーザ インターフェイスにログインします。

■ ゲストユーザアカウントの作成

- ステップ 2** Administration > AAA の順にクリックして、左のサイドバーメニューで Users を選択します。
- ステップ 3** Select a Command ドロップダウンメニューから、Add User を選択し、GO をクリックします。Users ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** Users ウィンドウで新しい Lobby Ambassador アカウントを追加する手順は、次のとおりです。
- a. ユーザ名を入力します。
 - b. パスワードを入力します。最小文字数は 6 文字です。パスワードを再入力して確認します。
 - c. Groups Assigned to this User で、LobbyAmbassador チェックボックスをオンにします。
 - d. Submit をクリックします。Lobby Ambassador は、追加すると Lobby Ambassador グループの一部になります。新しい Lobby Ambassador アカウントの名前が一覧に表示され、すぐに使用できる状態になりました。

WCS ユーザ インターフェイスへのログイン

Lobby Ambassador としてログインすると、WCS のゲストユーザテンプレート ページにアクセスします。そこでテンプレートを通してゲストユーザアカウントを設定できます。

Web ブラウザを介して WCS ユーザ インターフェイスにログインする手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** コンピュータで Internet Explorer 6.0 またはそれ以降のバージョンを起動します。



(注) Windows ワークステーション上で Internet Explorer 6.0 以外の Web ブラウザを使用した場合、一部の WCS 機能が適切に機能しない場合があります。

- ステップ 2** ブラウザのアドレス行で、**https://wcs-ip-address** と入力します (例: **https://1.1.1.1/login.html**)。wcs-ip-address には、WCS をインストールしたコンピュータの IP アドレスを入力します。この IP アドレスは管理者が知っています。

- ステップ 3** WCS ユーザ インターフェイスに Login ウィンドウが表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力します。



(注) 入力する文字はすべて、大文字と小文字が区別されます。



(注) Lobby 管理者は、ゲストユーザテンプレートのみを定義できます。

- ステップ 4** Submit をクリックして、WCS にログインします。WCS ユーザ インターフェイスは、これでアクティブになり、使用可能になります。Guest Users ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、作成したすべての Guest User の概要が表示されます。



(注) WCS ユーザ インターフェイスを終了するには、ブラウザ ウィンドウを閉じるか、ウィンドウの右上の **Logout** をクリックします。WCS ユーザ インターフェイス セッションを終了しても、サーバ上では WCS は終了しません。



(注) WCS セッション中にシステム管理者が WCS を停止すると、セッションが終了し、Web ブラウザに次のメッセージが表示されます。「The page cannot be displayed.」サーバが再起動される際に、セッションは WCS に再アソシエートされません。WCS セッションを再開する必要があります。

WCS ゲスト ユーザ アカウントの管理

WCS ゲスト ユーザ アカウントは、テンプレートを使用して管理されます。この項では、WCS ユーザアカウントの管理方法について説明します。項目は、次のとおりです。

- [ゲスト ユーザ アカウントの追加 \(P. 7-13\)](#)
- [ゲスト ユーザの表示と編集 \(P. 7-14\)](#)
- [ゲスト ユーザ テンプレートの削除 \(P. 7-15\)](#)
- [WCS ゲスト ユーザ アカウントのスケジュール \(P. 7-16\)](#)
- [WCS ゲスト ユーザの詳細の印刷または電子メール送信 \(P. 7-17\)](#)

ゲスト ユーザ アカウントの追加

テンプレートは、WCS でゲスト ユーザ アカウントの作成に使用されます。作成されたテンプレートは、ゲスト ユーザがアクセスできるすべてのコントローラに適用されます。WCS に新しいゲスト ユーザ アカウントを追加する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Lobby Ambassador として WCS ユーザ インターフェイスにログインします。
- ステップ 2** Guest User ページで、Select a Command ドロップダウン メニューから **Add Template** を選択し、**GO** をクリックします。
- ステップ 3** **Guest User > New User** ウィンドウで、ゲスト ユーザ名を入力します。最大文字数は 24 文字です。
- ステップ 4** Lobby Ambassador は、ユーザ名またはパスワードを手動で入力するか、パスワードを自動生成するオプションを使用できます。自動生成を選択した場合は、パスワード フィールドに値が読み込まれます。パスワードを入力する場合、確認のために 2 度入力します。



(注) パスワードでは、大文字と小文字が区別されます。



(注) Lobby 管理者は、ゲスト ユーザ テンプレートのみを定義できます。

■ ゲストユーザアカウントの作成

ステップ 5 ドロップダウンメニューから **Profile ID** を選択します。これは、このゲストユーザが適用する SSID であり、レイヤ 3 Web 認証ポリシーが設定されている WLAN でなければなりません。使用する Profile ID については管理者に問い合わせてください。

ステップ 6 ゲストユーザアカウントの説明を入力します。

ステップ 7 **limited** または **unlimited** を選択します。

- **Limited** : ドロップダウンメニューから、このゲストユーザアカウントのライフタイムを日単位、時間単位、または分単位で選択します。最長は 35 週です。
- **Unlimited** : このユーザアカウントには有効期限がありません。

ステップ 8 **Apply To** をクリックし、キャンパス、ビルディング、またはフロアを選択してゲストユーザを限定領域に制限します。それにより、適用されたときにそれらのコントローラおよびアソシエートされたアクセスポイントのみが使用できるようになります。また、ゲストユーザを、一覧に記載された特定のコントローラまたは設定グループに制限することもできます。この際、コントローラのグループは管理者により事前に設定されています。

ドロップダウンメニューから、次のいずれかを選択します。

- **Controller List** : ゲストユーザアカウントが適用されるコントローラを、チェックボックスでオンにします。
- **Indoor Area** : 適用できるキャンパス、ビルディング、およびフロアを選択します。
- **Outdoor Area** : 適用できるキャンパスおよび屋外領域を選択します。
- **Config Group** : ゲストユーザアカウントを適用する設定グループを選択します。

ステップ 9 放棄の情報を確認します。スクロールバーを使用して、上下に移動します。



(注) Account Expiry には、ゲストユーザアカウントを適用したコントローラ、ゲストユーザアカウントの有効期限が切れるまでの残りの秒数が表示されます。このアカウントのライフタイムパラメータを更新する必要がある場合は、「[ゲストユーザの表示と編集](#)」の項 (P. 7-14) を参照してください。

ステップ 10 今後すべてのゲストユーザアカウントに対してデフォルトの放棄テキストを新たに設定する場合、チェックボックスをオンにします。

ステップ 11 変更内容を保存するには **Save** を、設定値を変更せずにそのまま残すには **Cancel** をクリックします。Guest User Credentials ウィンドウが表示されます。

ゲストユーザの表示と編集

現在の WCS ゲストユーザを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 「[WCS ユーザインターフェイスへのログイン](#)」の項 (P. 2-14) に記載されている方法で、WCS ユーザインターフェイスにログインします。

ステップ 2 Guest User ウィンドウで、表示または編集する項目を選択して User Name 列の下の番号をクリックします。

ステップ 3 Guest Users > Users ウィンドウで編集できる項目は、次のとおりです。

- Profile ID : ドロップダウンメニューから Profile ID を選択します。これは、このゲストユーザが適用する SSID であり、レイヤ 3 Web 認証ポリシーが設定されている WLAN でなければなりません。使用する Profile ID については管理者に問い合わせてください。
- Description : ゲストユーザアカウントの説明を入力します。
- Limited or Unlimited :
 - Limited : ドロップダウンメニューから、このゲストユーザアカウントのライフタイムを日単位、時間単位、または分単位で選択します。最長は 30 日です。
 - Unlimited : このユーザアカウントには有効期限がありません。
- Apply To を選択し、キャンパス、ビルディング、またはフロアを選択してゲストユーザを限定領域に制限します。それにより、適用されたときにそれらのコントローラおよびアソシエートされたアクセスポイントのみが使用できるようになります。また、ゲストユーザを、一覧に記載された特定のコントローラまたは設定グループに制限することもできます。この際、コントローラのグループは管理者により事前に設定されています。ドロップダウンメニューから、次のいずれかを選択します。
 - Controller List : ゲストユーザアカウントが適用されるコントローラを、チェックボックスでオンにします。
 - Indoor Area : 適用できるキャンパス、ビルディング、およびフロアを選択します。
 - Outdoor Area : 適用できるキャンパスおよび屋外領域を選択します。
 - Config Group : ゲストユーザアカウントを適用する Config Group を選択します。

ステップ 4 変更内容を保存するには **Save** を、設定値をそのまま残すには **Cancel** をクリックします。Save をクリックすると、画面が更新されます。



(注) Account Expiry には、ゲストユーザアカウントを適用したコントローラ、ゲストユーザアカウントの有効期限が切れるまでの残りの秒数が表示されます。

ゲストユーザテンプレートの削除

ゲストアカウントを削除する際は、ゲスト WLAN ユーザ名を使用してログインしているすべてのクライアントステーションは削除されます。WCS ゲストユーザテンプレートを削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 「WCS ユーザインターフェイスへのログイン」の項 (P. 2-14) に記載されている方法で、WCS ユーザインターフェイスにログインします。

ステップ 2 Guest User ウィンドウで、削除するゲストユーザアカウントの左側のチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 Select a Command ドロップダウンメニューから、Delete Guest User を選択し、GO をクリックします。

ステップ 4 プロンプトが表示されたら、OK をクリックして確認します。



(注) ゲスト ユーザ アカウントが適用された IP アドレスとコントローラ名が表示され、コントローラからのテンプレートの削除を確認するプロンプトが表示されます。

トラップを呼び出すことにより、コントローラによってゲストアカウントの期限切れや削除の通知が送信されます。WCS はそのトラップを処理し、そのコントローラの設定から期限切れのユーザアカウントを削除します。そのゲスト アカウントがほかのコントローラに適用されていない場合は、それをテンプレートから削除することもできます。また、イベント ログに通知が表示されます。

ステップ 5 **OK** をクリックしてコントローラからゲスト ユーザ テンプレートを削除するか、**Cancel** をクリックして設定内容を変更せずに残します。コントローラからゲスト ユーザ テンプレートを削除する際に、指定されたゲスト ユーザ アカウントが削除されます。

WCS ゲスト ユーザ アカウントのスケジュール

Lobby Ambassador では、ゲスト ユーザ アカウントの自動作成をスケジュールできます。アカウントの有効性と自動更新を定義できます。オプションでスケジュールごとに新しいユーザ名を生成できます。有効にするには、チェックボックスをオンにします。スケジュールされたユーザの場合、パスワードは自動的に生成され、ゲストのホストへ電子メールが自動的に送信されます。ホストの電子メールアドレスは、New User ウィンドウで設定されます。Save をクリックすると、Guest User Details ウィンドウにパスワードが表示されます。このウィンドウから、アカウントのクレデンシャルを電子メールで送信したり、印刷したりできます。

WCS で自動更新されるゲスト ユーザ アカウントをスケジュールする手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Lobby Ambassador として WCS ユーザ インターフェイスにログインします。
- ステップ 2** Guest User ウィンドウで、Select a command ドロップダウン メニューから **Schedule Guest User** を選択し、**GO** をクリックします。
- ステップ 3** Guest Users > Scheduling ウィンドウで、ゲスト ユーザ名を入力します。最大文字数は 24 文字です。
- ステップ 4** チェックボックスをオンにして、スケジュールごとにユーザ名とパスワードを生成します。オプションで、スケジュールごとの新しいユーザ名とパスワードを生成できます。
- ステップ 5** ドロップダウン メニューから **Profile ID** を選択します。これは、このゲスト ユーザが適用する SSID であり、レイヤ 3 認証ポリシーが設定されている WLAN でなければなりません。使用する Profile ID については管理者に問い合わせてください。
- ステップ 6** ゲスト ユーザ アカウントの説明を入力します。
- ステップ 7** **limited** または **unlimited** を選択します。
 - **Limited** : ドロップダウン メニューから、このゲスト ユーザ アカウントのライフタイムを日単位、時間単位、または分単位で選択します。最長は 30 日です。
 - **Start time** : ゲスト ユーザ アカウントが開始される日時。
 - **End time** : ゲスト ユーザ アカウントが終了される日時。

- **Unlimited** : このユーザアカウントには有効期限がありません。
- **Days of the week** : このゲスト ユーザ アカウントに適用する曜日をチェックボックスでオンにします。

ステップ 8 **Apply To** を選択し、キャンパス、ビルディング、またはフロアを選択してゲスト ユーザを限定領域に制限します。それにより、適用されたときにそれらのコントローラおよびアソシエートされたアクセス ポイントのみが使用できるようになります。また、ゲスト ユーザを、一覧に記載された特定のコントローラまたは設定グループに制限することもできます。この際、コントローラのグループは管理者により事前に設定されています。

ドロップダウン メニューから、次のいずれかを選択します。

- **Controller List** : ゲスト ユーザ アカウントが適用されるコントローラを、チェックボックスでオンにします。
- **Indoor Area** : 適用できるキャンパス、ビルディング、およびフロアを選択します。
- **Outdoor Area** : 適用できるキャンパスおよび屋外領域を選択します。
- **Config Group** : ゲスト ユーザ アカウントを適用する設定グループを選択します。

ステップ 9 電子メールアドレスを入力して、ゲスト ユーザ アカウントのクレデンシャルを送信します。スケジューリングされた時刻になるたびに、指定された電子メールアドレスへゲスト ユーザ アカウントのクレデンシャルが送信されます。

ステップ 10 放棄の情報を確認します。スクロール バーを使用して、上下に移動します。

ステップ 11 変更内容を保存するには **Save** を、設定値をそのまま残すには **Cancel** をクリックします。

WCS ゲスト ユーザの詳細の印刷または電子メール送信

Lobby Ambassador では、ゲスト ユーザ アカウントの詳細を印刷したり、ゲストを歓迎するホストや個人に電子メールで送信できます。

電子メールおよび印刷には、次の詳細が表示されます。

- **Username** : ゲスト ユーザ アカウント名。
- **Password** : ゲスト ユーザ アカウントのパスワード。
- **Start time** : ゲスト ユーザ アカウントが開始される日時。
- **End time** : ゲスト ユーザ アカウントが終了される日時。
- **Profile ID** : このゲスト ユーザが適用される Profile ID。使用する Profile ID については管理者に問い合わせてください。
- **Disclaimer** : ゲスト ユーザの Disclaimer 情報。

ゲスト ユーザ アカウントを作成して、コントローラ、領域、または設定グループの一覧にそのアカウントを適用すると、リンクが生成され、ゲスト ユーザ アカウントの詳細を電子メールで送信したり、印刷できるようになります。Guest Users List ウィンドウからもゲスト ユーザ アカウントの詳細を印刷できます。

Guest Users List ウィンドウからゲスト ユーザの詳細を印刷する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Lobby Ambassador として WCS ユーザ インターフェイスにログインします。

ステップ 2 Guest User ウィンドウで、User Name の横のチェックボックスをオンにし、Select a command ドロップダウンメニューから **Print/Email User Details** を選択して、**GO** をクリックします。

- 印刷する場合には、Print ウィンドウで **Print** ボタンをクリックし、プリンタを選択して **Print** または **Cancel** をクリックします。
- 電子メールの場合には、Email ウィンドウで **Email** ボタンをクリックして、件名と受信者の電子メールアドレスを入力します。**Send** または **Cancel** をクリックします。

Lobby Ambassador アクティビティのロギング

次のアクティビティは、各 Lobby Ambassador アカウントで記録されます。

- Lobby ambassador login : WCS では、すべてのユーザの認証操作結果が記録されます。
- Guest user creation : Lobby Ambassador でゲストユーザアカウントが作成されると、WCS でゲストユーザ名が記録されます。
- Guest user deletion : Lobby Ambassador でゲストユーザアカウントが削除されると、WCS では削除されたゲストユーザ名が記録されます。
- Account updates : WCS では、ゲストユーザアカウントに対して実行されたすべての更新の詳細が記録されます。たとえば、ライフタイムの延長などです。

Lobby Ambassador アクティビティを表示する手順は、次のとおりです。



(注) このウィンドウを開くには、スーパーユーザステータスである必要があります。

ステップ 1 管理者として Navigator または WCS ユーザインターフェイスにログインします。

ステップ 2 **Administration > AAA** をクリックし、次に左のサイドバーメニューで **Groups** をクリックして All Groups ウィンドウを表示します。

ステップ 3 All Groups ウィンドウで、表示する Lobby Ambassador アカウントの Audit Trail アイコンをクリックします。Lobby Ambassador の Audit Trail ウィンドウが表示されます。

このウィンドウで、Lobby Ambassador アクティビティ一覧の時系列の表示を有効化します。

- User : ユーザのログイン名
- Operation : 監査された操作の種類
- Time : 操作が監査された時刻
- Status : Success または Failure

ステップ 4 監査証跡をクリアするには、Select a Command ドロップダウンメニューから **Clear Audit Trail** を選択し、**GO** をクリックします。